

事業所における自己評価表（児童発達支援）

事業所名：子ども発達スクール かすたねっと

公表日：平成31年2月1日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係 で適切であるか	○			環境等を含め適切なスペースを確保し ています。
	職員の配置数、専門性は適切であるか	○			作業療法士・特別支援教員、心理士等、 専門職を配置しています。
	事業所内は、子どもにわかりやすく構造化され た環境になっていますか。また、スロープや手 すりなど、バリアフリー化や情報伝達などの配 慮が適切になされているか	○			スロープやトイレ等もバリアフリー化 しています。また、視覚的にわかりやす いように構造化しています。
	指導訓練室の安全対策は、十分にとられている か	○			床に木材で空間を作り、万が一の転倒の 際に、衝撃が最小限になるように施工し ています。
	事業所内は常に、衛生的な状態であるか。また、 子どもたちの活動に合わせた空間となってい るか。	○			毎日の清掃、遊具・トイレの消毒を実施 しています。
業務改善	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目 標設定と振り返り）に、広く職員が参画してい るか	○			毎日その日の振り返りと翌日の目標設 定を実施しています。
	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把 握し、業務改善に繋げているか	○			アンケート調査を保護者様に向けて実 施しています。
	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表 の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行う とともに、その結果による支援の質の評価及び 改善の内容を、事業所の会報やホームページ等 で公開しているか		○		ホームページ等で公開していきます。
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか			○	必要性に応じ検討中です。
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	○			事業所内研修の実施及び外部研修会へ の参加の機会を設けています。
	事業所内で職員の相談体制を整備しているか	○			スーパーバイザーによるアドバイスを 実施しています
適切な 支援の 提供	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支 援計画を作成しているか	○			子どもの心身のニーズを把握し、子ども とその家族の生活に対する意向に沿っ た個別支援計画を作成しています。
	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	○			発達検査および評価を実施しています

個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			お子様と保護者様のニーズを踏まえ、個別支援計画にはガイドラインに示されている必要な項目を選択し、具体的な支援内容を設定しています。
個別支援計画に沿った支援が行われているか	○			お子様の日々の様子を保護者様から聞き取りし個別支援計画を軸に、支援を行っています。
子どもに応じたプログラムを実施できるように、様々な有資格者で立案を行っているか	○			作業療法士、特別支援教員、心理士等でプログラムを立案しています。
子どもの状況に応じて、課題をきめ細やかに設定しているか	○			保護者様への聞き取りを行い、子どもの状況を把握し、それぞれのお子様に応じたプログラムを実施しています。
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	○			お子様の状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ、半期ごとに個別支援計画を作成しています。
支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			前日に翌日行われる支援の内容や役割分担について確認し、情報の共有をしています。
支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			終業時に、その日に行われた支援の振り返りを実施し、情報の共有をしています。
日々の支援に関して、正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録を記入し、支援の検証・改善につなげるようにしています。
定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半期ごとに個別支援計画の見直しを実施しています。
ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	○			複数の基本的な活動を組み合わせることで支援を行っています。
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○	障がい児相談支援事業所の利用者が少ないため、サービス担当者会議が実施されていません。今後サービス担当者会議の開催が増えれば、参画していこうと考えています。

関係機関や保護者との連携	母子保健や子ども・子育て支援などの関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			母子通所のため、基本的には保護者様を介して情報共有、連絡調整を行っています。
	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	主たる対象児を、発達障害児としているため、対象児の利用はございません。
	移行支援として、保護者や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○	就学前からの利用を基本としているため、必要に応じ、情報共有と相互理解に努めています。
	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			小学校へ移行する際には、必要に応じて児童の情報共有と相互理解を図っています。
	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			大阪府障がい児通所支援事業者育成事業等の研修会に参加しています。
	地域での他のお子様と活動する機会はありますか			○	地域交流については、変化に弱い子どもも多いため機会を設けていませんが、同年代のお子様との関係づくりに必要な力を育めるよう支援を行っています。
	同年代の子どもとの関係づくりに必要な力を育むための支援を行っているか	○			保護者様から園生活の様子などを聞き取り、同年代のお子様との関係づくりに必要な力を育むための支援を行っています。
	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	全てに参加できませんが、出来る限り協議会・勉強会等へ参加しています。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			母子通所のため、来所時に保護者様とお子様の日々の様子を伝え合い、共通理解できるようにしています。
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して研修等の支援を行っているか	○			定期的に保護者様への研修会を実施しています。
運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用開始前に説明を実施しています。	
保護者への説明責任等	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援の内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	○			個別支援計画の内容を確認していただき同意を得ています。
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者様から日頃の悩み等を伺っています。 ※必要性が高い場合等は専門家によるアドバイスをしています。

	保護者同士が連携できるような支援をしているか		○		就学前や同学年などお子様同士の年齢が近い保護者様への研修会や座談会を行っています。
	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受け入れサポートのための第三者機関を整備しています。
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		定期的ではないが、ホームページ等で情報を発信しています。
	個人情報に十分注意しているか	○			記録等はカギのかかる場所に保管しています。
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚的に理解しやすいように環境設定をしています。
	地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域交流できる場を検討中です。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル（非常災害対応・防犯対策・感染症対応）を策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルを作成していますが、職員、保護者様への周知、説明をさらに行っていきます。
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に避難訓練を実施しています。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に職員の研修会を実施しています。
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか		○		母子通所のため、必要ありません。
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか		○		食物アレルギーのある子どもに食べ物を提供する際は、保護者様に現物をみせ、アレルギーの有無を確認しています。
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			その日の終業時にヒヤリハット事例を記録しています。
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			契約の際には、アセスメントシートにて服薬状況等の確認をしています。